

切磋琢磨



令和元年7月19日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

授業・生活の「質」を高めた第3ステージでした

校長 伊藤勝彦

6/17 から始まった第3ステージ「質」が終わりました。昨年度までの5ステージから8ステージになり、今年度から新たに設定されたステージです。文字通り授業や生活の質を第2ステージの成果である「組織的な動き」を生かして向上させてきました。7月に入ったステージ後半では、授業の他に各学年とも生活面での課題も加えて取り上げ、それを解決する中で学年集団を高めようとしてきました。1年生は、授業中の挙手と掃除について取り組みました。2年生は「無言」を通して、場に応じた行動の仕方を考える「自律」を意識した取組を行いました。3年生は学年で挙手10,000回の達成をめざして取り組みました。もちろん、最高学年として給食配膳や無言清掃など生活全般の質の向上にも取り組みました。このように第3ステージでは、どの学級・学年も学習や生活の「質」にこだわり、質的な向上をめざして取り組んだところが今年度の大きな特徴であり、昨年度までとの大きな違いです。

また、7/2の生徒集会で、下記のような学級目標が発表されました。どの学級も生徒の一人一人の思いや担任の先生の思いが融合されたその学級ならではの学級目標となっています。現在、それぞれの学級は学級目標に向かって全員が一丸となって取り組んでいます。

11組：日常から考動し、呼応の関係を築くことで、仲間との絆を深め、笑顔が輝く11組

12組：一人一人が考動し、呼応と仲間との絆を大切に、質の高いクラスへとチェンジしていける12組

13組：考動・協力・呼応しあって、一人ひとりが思いやりの心もち、全員が幸せと思える13組

14組：全員で5K（気づき・考動・呼応・協力・挙手）を大切にして、日常の質の高さを誇れる14組

21組：1つの目標に全員で一生懸命取り組み、日常から互いに協力し合い、心をつなぎ合わせ、呼応の輪を広め団結し、全員で「開花」する21組

22組：一人一人の意見を認め合い、互いに支え合い、仲間へ貢献し、充実した生活を送ることで、幸せをつかみとる22組

23組：37人全員が、日常から目標に向けて思いをもって全力で取り組み、仲間どうして喜びや悲しみを分かち合い互いに認め合うことで、笑顔あふれる心の居場所を創り出す23組

24組：36人全員で日常から心をつなにし、想いを分かち愛、絆を深め、誇れる事実を積み重ねていく24組

31組：どんなことにも全員が前向きに取り組み、同じ目標に向かって支え合い、一人の頑張りを全員の力にし、全力で取り組むことで、全校1笑顔あふれる31組

32組：全員が仲間のことを思いやり、全員で結束し挑戦することで、東中の顔となり、一人ひとりが笑顔で共に達成感を味わえる32組

33組：全員が全てにおいて全校一を目指し、呼応することで仲間と関わり合い、日常から笑顔で生活できる33組

34組：全てにおいて圧倒する姿で示し、一人ひとりが仲間に関わり続けることで、黄金期の核となる最高の34組

あゆみ1組：仲間を思いやり、支え合いながら、日常生活を高めることで、笑顔あふれるあゆみ1組

あゆみ2組：何事にも挑戦し、仲間と助け合いや協力をする中で、「プラスのこ

とばし行動（思いやり）」・「できること（財産を増やし、笑顔と元気がいっぱいあふれるあゆみ2組

あゆみ3組：助け合いや協力ができる、仲間との絆を深め、何事も乗り越える。成長が止まらないあゆみ3組

7/18には、教育長訪問があり、第3ステージまでの成果を生徒の姿として見ていただきました。「どの学年・学級もたいへん落ち着いており、前向きに学習に取り組んでいる姿が素晴らしい」「よりよい授業を創ろうとする思いが集中して聞く姿や話す姿から感じられました」など、お褒めの言葉をいただきました。

引き続き、夏休み明けの恵那東中の生徒へのご声援をお願いします。

